



リンナイガス給湯器 魔法のお湯、白さの秘密は「極小の泡」のご紹介です。

ホームガス課 中下 裕司

お湯はどれも同じ？ いえ、そんなことはありません。お湯を通じ、人々がリラックスできる生活を研究してきたリンナイは、クリームのように濃厚な「白いお湯」を生み出しました。

それが、かってないほど大量の「ファインバブル」を溶け込ませ、驚きの機能を備えたお湯です。

ファインバブルとは、直径100マイクロメートル未満の「ウルトラファインバブル」の2種類の気泡を溶け込ませると、普段のお湯や水が多様な機能を持つようになるのです。

例えば洗浄効果。泡の洗浄効果を長年にわたって研究してきた慶応義塾大学の寺坂宏一教授によると、マイクロバブルは油污れなどを落とす効果に優れているそうです。

一方でより小さな泡のウルトラファインバブルは毛穴のような極めて小さい隙間に入り込むので、深く隠れた汚れや匂いを落とす効果があるそうです。

このように、サイズも機能も違う2つの泡が混ざったお湯は、私たちの生活に様々なメリットを提供してくれます。微細な空気を含むから、お湯がよりなめらか、まるやかになり、体や気持ちにも良い好影響を与え、またウルトラファインバブルは生物をより活性化させるという驚きの効果も多くの研究から確認されています。

リンナイは、マイクロバブルを1ccあたり3万個、ウルトラファインバブルを1ccあたり242万個含むお湯を作り出せ、入浴に使える給湯器を開発しました。これまで世の中にあった家庭用マイクロバブルバスと比較すると圧倒的な含有量が自慢です。その濃厚さは、息をのむほどの白さが証明しています。

多様な分野で注目集める「ファインバブル」洗浄性能だけではなくありません。この微細な泡が持つ特性は今、さまざまな業界で注目を浴びています。微細な空気の泡が細胞に浸透する特徴を利用して野菜や魚などの成長を促進させる効果が注目され、多くの養殖、農場で実用化、そのほか食の味や質感を高める試みや、水の抵抗を減らして滑らかになる特性を活用して工業分野でも活躍しています。リンナイはその力を新たな入浴体験に応用しました。

複雑な工事は必要とせず、リンナイのマイクロバブルバスユニットは導入も簡単です。

バスタブや天井などの工事が不要で、本体と専用リモコン、循環金具だけで、容易に導入できます。また、バスルーム内に追加の機器設置も必要ありません。メンテナンス性がよく、利用時の運転音も気にならないため、快適にマイクロバブル入浴を楽しめます。



すでに様々な産業で使われているこの「ファインバブル」。リンナイは、お風呂のお湯に濃厚に溶け込ませる技術を開発、あなたの体を清潔に、そして美しく保つ濃厚な白いお湯を生み出しました。なめらかでまるやかなテクスチャーは、良質な温泉を思わせる美しさも感じます。その美しい湯に浸かることで、リラックスする効果も実証されています。濃厚クリーミーな白いお湯で心も体も美しく、まずはお風呂で体験してください。

日経情報誌より引用

2月・3月がピーク!! 花粉対策されますか？

リビングサービス課 中川 拓哉

皆さん今年もこの季節がやってきましたね。私は中学生のころから花粉症に悩まされています。よく友達からは「家の周りに山あるのに花粉症になるんやな～」と言われます。

私はスギ・ヒノキの花粉がダメみたいで、ひどいときは5月くらいまでくしゃみや鼻水が出てしまいます。花粉用の薬は飲んでいますが、それだけでは効かなくなってきたので、他の対策がないのか今回調べてみることにしました。是非参考にしてください。



花粉症は、スギなどの花粉が鼻・のどの粘膜や目に付着することで症状があらわれます。外出時は、なるべく花粉に触れないような工夫が必要です。花粉が多い日は、気温が高く、湿度が低い日・空気が乾燥して風が強い日・雨が降った翌日が多いみたいです。

花粉が多い時間帯は午後13時～15時頃がよく出ます。

外出時にはマスクや花粉用のメガネを着用してください。マスクをつけることで花粉を吸いこむ量が1/3～1/6までに減らせ、メガネをつけることで花粉が目に入る量を1/2～1/3に減らせるといわれています。他には帰宅したら玄関外で衣服についた花粉を払い手洗うがい、洗顔をして洗い流すことが必要です。

コロナの影響で家での自粛生活が多いですが、家の中にも花粉は入ってきます。換気をするために窓を全開にしてみようと思わないので、少しだけ開けて短時間換気することがいいと思います。床に花粉はたまりやすいので毎日掃除することも大切です。



他には、予防のための生活習慣も大切になってきます。

疲労や睡眠不足が体調に影響して、アレルギー反応が起きやすくなります。日ごろから栄養のバランスがとれた食事、規則正しい生活、十分な睡眠をとることが大切です。

食事の面で、免疫機能の維持や目・鼻の粘膜を保護するためには、大葉や青魚、トマトなどの食材を取り入れることが有効です。また、辛味があり、体を温めるネギ、ニラ、ショウガ、大葉、ウドなどは、花粉症の症状を緩和します。

今回は一部の花粉対策を上げさせていただきましたが、まだ花粉症になっていない方も対策してみてもいいでしょうか？

他に対策などあれば教えてもらえると嬉しいです。

https://www.d-yutaka.co.jp/blog/health_and_beauty/1902hay-fever/